

## 会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回生涯学習推進センター運営協議会
開催日時	令和6年2月19日（月）午前10時30分～11時30分 （閉会后、約40分の冬季企画展見学）
開催場所	所沢市生涯学習推進センター 1階 エンカウナールーム
出席者の氏名	新井政明、伊藤明芳、川地武、須藤とく子
欠席者の氏名	井関義邦、須賀聡
説明者の職・氏名	なし
議題	（1）生涯学習推進センター事業の進捗状況について （2）意見交換 「センターと外部の連携について」 （3）その他
会議資料	① 次第 ② 資料1「令和5年度 生涯学習推進センター事業報告」 ③ 冬季企画展チラシ ④ 市民教養セミナーチラシ ⑤ 翔びたつひろば2月号
担当部課名	教育委員会 教育総務部長：千葉裕之 教育総務部社会教育担当参事兼社会教育課長事務取扱：糟谷苗美 教育総務部文化財保護課長：稲田里織 学校教育課指導主事：岩井大地 教育総務部社会教育課生涯学習推進センター 所長：藤巻幸子、主査：平野清人、主事：永友恵悟

様式第2号

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>◇事務局の司会により開会。（10：30）</p> <p>◇教育総務部長あいさつ</p> <p>◇会長あいさつ</p> <p>その後、会長が議事進行 （傍聴者なし）</p>
議長：会長	<p>会議録の記録方式は要約方式に、確定方法は議長の承認方式とし、事務局が書記を務める。</p>
議長：会長	<p>◇生涯学習推進センター事業の報告について ここから議事に入ることとし、はじめに、生涯学習推進センター事業の進捗状況について事務局から説明していただきたい。</p>
事務局	<p>生涯学習推進センターの事業の報告について、資料1に基づき説明する。</p>
議長：会長	<p>事務局の説明に質問・意見はあるか。</p>
委員	<p>ところん自習室の利用状況について、男女比はどのくらいか。また、利用者の様子はどうか。</p>
事務局	<p>男子の利用が多い。最近は友達同士のグループでの利用も多く、別室で和気あいあいと教え合いをしている様子も見られる。</p>
委員	<p>就学相談について、相談が多い年齢はいつごろか。</p>
事務局	<p>学校に入る前の未就学児からの相談が多い。</p>
委員	<p>市民学芸員ステップアップ講座と小学校体験学習について、具体的に何を行ったのか。</p>
事務局	<p>市民学芸員ステップアップ講座では、「所沢の自然」をテーマに、市のみどり自然課や入間市博物館から地形や植生の学習をした。小学校体験学習では、市民学芸員にも協力いただき、小学1年生は「たぬきの糸車」に登場する糸車の体験を、小学3年生は、黒電話や洗濯板、背負いかごなど、昔の暮らしに関する道具の体験を行った。</p>
委員	<p>体験学習が、2校だけの実施なのは残念。とても大事なことだと思うので、もっと、学校で他の施設やここを通した学びを活用して欲しい。</p>
事務局	<p>学校教育課としても、さらなる活用を検討していく。なお、文化財保護課では、新任教員が所沢市の歴史を学ぶ講座を行うなど、教育センターが実施する新任教員研修に協力している。</p>
議長：会長	<p>◇意見交換「センターと外部の連携について」 それでは、事務局から意見交換について、趣旨説明をしていただきたい。</p>
事務局	<p>意見交換の趣旨について説明。</p>
委員	<p>センターと外部の連携では、今年度初めてセンター主催で大学において学生と一般市民が共に講義を学ぶ連続講座を実施した。また、図書館司書を目指す学生が受講する生涯学習概論では、実体験を重視しており、毎年センターの見学と所長の講演を行っている。こういった場所があることを実際に肌で感じることは有益だと思う。より多くの人にこの場所を知って欲しい。 最近、家の近所でも外国人やその子どもが増えている。そういった外国人に</p>

委員	向けた学びも重要だと考える。ボランティアのニーズが高まるなか、公的な分野からも手を差し伸べる必要があると思う。生涯学習と少しは違うかもしれないが、包摂的な学びが求められているのではないか。
事務局	日本語を教えるボランティア活動に対しては、社会教育課が支援を行い関わっている。しかし、ボランティアの高齢化や人材不足の一方で、日本語学習を希望する人は増加する傾向にある。現在市として直接の担当の部署が無く、ボランティアに頼っている面もあり、学校教育でも支援は行っているが、こういった狭間にいる人たちを、どう支援していくか考える必要がある。生涯学習推進センターでも、ここでの事業や拠点にしている市民団体とともに、検討していきたい。
委員	外部との連携をどうあるべきか。外国人だけでなく、多様な背景を持った人が集まる学校教育の部分を特にどう手厚くしていくかが重要である。
事務局	日本語教室を学校で開催をしているが、その他に受験期のケアも含めて検討したい。
委員	日本語教室は学校を巡回するのではなく、例えば教室を生涯学習推進センターで、定期的に開催したら効率的になるのではないか。
委員	このセンターは、体育室やグラウンドがあるなど設備が充実しておりもったいないと感じる。今年度は小学生に対しての体験授業を行っているが、センターに来てもらうのではなく、小学校に昔の道具を持って行って出張体験させてもいいと思う。生涯学習推進センターという名称も、硬いので名前を変えてもいいと思う。神奈川県大和市に「大和市文化創造拠点シリウス」という施設があるが、例えばここでは絵本の横に文化財が並んでいたり、相談や飲食ができるスペースが併設されていたりする。予算の面から厳しいとは思いますが、PR方法などは参考に取入れてもいいのではないか。
委員	「人」が大事というのは実感する。ところん自習室は見守りスタッフを置いていることで、心理的安全性が保たれ、リピーターが増えていると思う。文化財保護課の企画展は、郷土への愛着が湧いて、また案内の方が一所懸命やられていて心に響いた。「人」を使ったしなげを提示していくことが、今後重要になってくると思う。
委員	企画展を展示室だけでなく、市役所のロビーで小さくやってもいいと感じた。パネルを置き、それをきっかけとして展示室に呼ぶこむのも良いのではないか。
事務局	市役所のロビーでは来庁者導線の確保や資料管理などの課題があるが、パネルのみなら可能性はあるかと思う。野老澤町造商店と連携した開催も検討しており、来年度は、「三ヶ島葎子資料室」開設30周年企画における調整を進めている。展示室に人が流れるよう、様々な連携を検討していきたい。
委員	所沢市には博物館構想があるが、単独施設ではなく複合施設が良いと思う。先述した「シリウス」では、建物の中に、市が保管する絵画や文化財に関する資料が、ふと目に入るしなげになっているのが良い。所沢市はそういったのが弱いと思う。
事務局	「文化財保護法」も改正され、文化財にはバランスのとれた「保存」と「活用」が求められている。市民がワクワクするような、興味を引いていく施策を考えていきたい。今回の協議会では「人」の力を連携させ、活かすヒントをいただくことができた。
	◇その他 特になし

議長：会長 副会長	議事が終了したので、進行を事務局にお返りする。 ◇副会長の閉会のことばを以って終了とした。 ※閉会后、約40分にわたり、文化財保護課職員の説明を受け、冬季企画展を見学した。
--------------	--